



平成29年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月5日

上場会社名 三協立山株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5932 URL <http://www.st-grp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 清胤
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 吉田 安徳 (TEL) 0766-20-2122
 四半期報告書提出予定日 平成28年10月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第1四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成28年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第1四半期	74,734	△5.7	713	365.1	610	501.5	174	—
28年5月期第1四半期	79,288	18.2	153	△94.9	101	△96.5	△76	—

(注) 包括利益 29年5月期第1四半期 △1,346百万円(—%) 28年5月期第1四半期 △353百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第1四半期	5.55	4.52
28年5月期第1四半期	△2.42	—

(注) 平成28年5月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年5月期第1四半期	251,067	78,119	30.2
28年5月期	254,630	80,102	30.6

(参考) 自己資本 29年5月期第1四半期 75,759百万円 28年5月期 77,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	15.00	—	20.00	35.00
29年5月期	—	—	—	—	—
29年5月期(予想)	—	15.00	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	169,000	0.6	4,500	98.8	4,000	140.0	2,500	—	79.62
通期	342,000	3.0	8,500	36.0	7,500	39.0	4,000	—	127.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年5月期1Q	31,554,629株	28年5月期	31,554,629株
② 期末自己株式数	29年5月期1Q	160,949株	28年5月期	159,773株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年5月期1Q	31,394,307株	28年5月期1Q	31,400,812株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得情勢が緩やかに持ち直していますが、円高による企業業績の停滞や個人消費の低迷など全体的に弱含みの状況になっております。海外経済は、全体としては緩やかに回復しているものの、アジア新興国等の景気減速や英国のEU離脱による経済影響など先行き不透明感が高まる状況となっております。

このような状況下、当社グループは平成27年7月に策定した『国内事業の収益体制強化と成長戦略の実現』を基本方針とする中期経営計画（平成28年5月期～平成30年5月期）の目標達成に向けて「改装・リフォーム事業の強化」「非建材事業の強化」「海外展開」に引き続き取り組むとともに、コストダウンなど効率化に注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高747億34百万円（前年同期比5.7%減）、営業利益7億13百万円（前年同期比365.1%増）、経常利益6億10百万円（前年同期比501.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億74百万円（前年同期は76百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

建材事業

建材事業においては、住宅基幹サッシ「アルジオ」など新商品の拡販や販売力強化を図りましたが、市場競争の激化や非木造建築物の着工が低水準で推移していることなどにより、売上高464億47百万円（前年同期比3.1%減）となりました。セグメント利益は、コスト削減やアルミ地金市況の変動などにより3億88百万円（前年同期は2億5百万円のセグメント損失）となりました。

マテリアル事業

マテリアル事業においては、アルミ地金市況変動と連動する売上額の減少影響がありましたが、輸送・一般機械分野での需要を取り込んだことなどにより、売上高94億31百万円（前年同期比13.9%減）、セグメント利益6億50百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

商業施設事業

商業施設事業においては、小売業の新規出店・既存店の活性化を目的とした改装需要に対する提案営業に注力したことなどにより、売上高84億85百万円（前年同期比6.3%増）、セグメント利益2億99百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

国際事業

国際事業においては、輸送分野、航空機分野の需要取り込みやコスト削減に注力しましたが、円高による為替影響やタイでの建材市場の停滞、欧州での子会社買収一時費用の発生などにより、売上高103億31百万円（前年同期比16.7%減）、セグメント損失6億7百万円（前年同期は5億53百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて35億63百万円減少し、2,510億67百万円となりました。これは、商品及び製品等のたな卸資産が30億57百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が39億50百万円、有形固定資産が14億93百万円、それぞれ減少したことが主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて15億79百万円減少し、1,729億48百万円となりました。これは、短期借入金が92億52百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が15億21百万円、1年内返済予定の長期借入金が13億53百万円、未払法人税等が22億10百万円、未払費用などその他流動負債が34億23百万円、長期借入金が24億47百万円、それぞれ減少したことが主な要因であります。なお、純資産は781億19百万円、自己資本比率は30.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月12日に公表いたしました業績予想の見直しは行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社において、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,355	27,794
受取手形及び売掛金	48,303	44,352
電子記録債権	3,978	4,085
商品及び製品	13,537	14,223
仕掛品	15,539	17,917
原材料及び貯蔵品	8,367	8,359
その他	7,676	6,662
貸倒引当金	△1,728	△1,582
流動資産合計	123,028	121,812
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,359	26,766
土地	54,847	54,336
その他(純額)	24,510	24,122
有形固定資産合計	106,718	105,225
無形固定資産		
のれん	4,592	4,095
その他	3,078	3,105
無形固定資産合計	7,670	7,200
投資その他の資産		
投資有価証券	14,735	14,325
その他	3,868	3,906
貸倒引当金	△1,390	△1,402
投資その他の資産合計	17,213	16,829
固定資産合計	131,602	129,255
資産合計	254,630	251,067

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,335	50,813
短期借入金	12,311	21,563
1年内返済予定の長期借入金	11,651	10,297
未払法人税等	2,693	483
賞与引当金	378	2,290
引当金	8	17
その他	26,653	23,230
流動負債合計	106,030	108,695
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	15,055	15,050
長期借入金	23,591	21,144
役員退職慰労引当金	9	8
製品改修引当金	1,514	1,385
退職給付に係る負債	18,185	17,187
資産除去債務	459	458
その他	9,681	9,019
固定負債合計	68,497	64,253
負債合計	174,528	172,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	33,007	33,007
利益剰余金	29,736	29,257
自己株式	△200	△202
株主資本合計	77,542	77,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,111	1,769
繰延ヘッジ損益	△120	△48
土地再評価差額金	3,707	3,731
為替換算調整勘定	△1,131	△2,716
退職給付に係る調整累計額	△4,215	△4,037
その他の包括利益累計額合計	352	△1,302
非支配株主持分	2,207	2,360
純資産合計	80,102	78,119
負債純資産合計	254,630	251,067

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)
売上高	79,288	74,734
売上原価	63,509	57,496
売上総利益	15,778	17,237
販売費及び一般管理費	15,625	16,524
営業利益	153	713
営業外収益		
受取利息	13	9
受取配当金	126	127
スクラップ売却益	143	168
持分法による投資利益	66	101
その他	283	206
営業外収益合計	632	613
営業外費用		
支払利息	210	133
売上割引	225	220
為替差損	70	262
その他	177	100
営業外費用合計	684	716
経常利益	101	610
特別利益		
固定資産売却益	11	4
投資有価証券売却益	13	-
その他	1	-
特別利益合計	26	4
特別損失		
固定資産売却損	6	26
固定資産除却損	50	90
その他	4	-
特別損失合計	61	116
税金等調整前四半期純利益	67	497
法人税等	78	246
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11	251
非支配株主に帰属する四半期純利益	64	77
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△76	174

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11	251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△788	△333
繰延ヘッジ損益	△57	72
為替換算調整勘定	320	△1,504
退職給付に係る調整額	178	177
持分法適用会社に対する持分相当額	3	△9
その他の包括利益合計	△341	△1,597
四半期包括利益	△353	△1,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△413	△1,503
非支配株主に係る四半期包括利益	60	157

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年6月1日 至 平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	建材 事業	マテリ アル 事業	商業 施設 事業	国際 事業	計				
売上高									
外部顧客に対する 売上高	47,913	10,948	7,984	12,406	79,253	34	79,288	—	79,288
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,318	8,236	27	—	9,583	—	9,583	△9,583	—
計	49,232	19,185	8,012	12,406	88,836	34	88,871	△9,583	79,288
セグメント利益又は 損失(△)	△205	632	285	△553	159	25	184	△31	153

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△31百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主として親会社の総務部、人事部、財務部など、管理部門に係る費用であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「国際事業」セグメントにおいて、前連結会計年度に当社の子会社Sankyo Tateyama Europe BVBA(旧社名:Sankyo Tateyama Euro BVBA)を通じて取得した、ST Extruded Products Germany GmbH(旧社名:Aleris Extruded Products Germany GmbH)等の取得原価の配分について、暫定的な会計処理により のれんを計上しておりました。

当第1四半期連結累計期間の追加支払額に基づく取得原価の価格調整による のれんの修正額は4.4百万ユーロ(607百万円)であります。

なお、当第1四半期連結累計期間においても取得原価の配分が完了していないため、引き続き暫定的な会計処理を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年6月1日 至 平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	建材 事業	マテリ アル 事業	商業 施設 事業	国際 事業	計				
売上高									
外部顧客に対する 売上高	46,447	9,431	8,485	10,331	74,696	37	74,734	—	74,734
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,351	6,189	31	31	7,603	—	7,603	△7,603	—
計	47,799	15,621	8,517	10,362	82,300	37	82,337	△7,603	74,734
セグメント利益又は 損失(△)	388	650	299	△607	731	27	758	△45	713

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△45百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主として親会社の総務部、人事部、財務部など、管理部門に係る費用であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。